

で平成31年事業認可取得に向けて進めたい。  
 (尾作) 計画が廃止となった場合、周辺の生活道、防災上の課題については如何か？ (部長) 周辺都市計画道路の整備によって通過交通は減少する認識。一方、災害時等の対応や歩行環境の改善を図る必要がある。この夏頃を目途に交通環境を含め「史跡周辺のまちづくり」について、地域の方々の意見を聞く機会を設けたい。

●都道国3・4・11号線、不動橋以南については平成37年事業化を目途とする。また、道路整備には架橋が必要だが野川整備の進捗に関わらず、整備が進むことを確認した。その他、野川整備では治水の観点から早急な整備を求め、待機児童問題は個々のニーズの把握を、インフルエンザ対策では庁内、市民への新たな対応を求めた。

## 人口減少待ったなし 未来を見据えた国分寺を



自民党新国会 本橋 たくみ

### ●井澤市政4年間の総括について

市長就任以来財政再建に取り組み、庁舎基金の約40億円の積み増しなど大変評価できる。市長自身の評価を問う。市長) 市民のための市政運営を念頭におきながら様々な改革を行ってきた。これからは課題を一つずつクリアしながら市政を前に進めていきたい。

### ●市庁舎の建設について

本橋) 今年度の庁舎建設に向けた取り組みについて問う。市) 6月から順次、新庁舎建設に向けた市民懇談会を行い市民の意見を募っていく。

### ●人口減少問題について

本橋) 出生率向上の取り組み、多世代同居の取り組み、待機児童の取り組み等を進めていながら、それぞれの自治体の努力で人口減少に歯止めをかけていく必要があると考えるが市の認識を問う。市) ご指摘のとおりあらゆる政策を組み合わせて努力をしていく。

### ●インバウンド政策について

本橋) 2020オリンピックに向け市でもインバウンド政策を積極的に進め、市の魅力を外国人観光客に広めていく必要があるが市の認識を問う。市) 市としても力を入れていく。

### ●スポーツ施設について

本橋) けやき運動場の人工芝化を強く求めてきたが市の認識を問う。市) 必要性は認識している。今後も財政面を考慮しながら進めていきたい。

### ●西国分寺駅北口の再開発について

本橋) 再開発を含め西国分寺駅北口の駅基盤の整備を行っていく必要がある。市) 市としても駅基盤の強化の必要性を認識し、地権者と協議、調整しながら、北口についての考え方を整理していく。

### 映像配信について



平成29年第2回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧いただけます。また、次回第3回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご利用ください。



本会議の動画配信QRコード

## 子どもたちの居場所づくりは大人の責任で



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■放課後子どもプランの今後 ■岩永 各小学校のPTAを中心とした実施委員会により運営されている放課後子どもプランは、ボール遊びのできる公園が少ない中で校庭を使った貴重な遊び場となっている。また、学童保育所の拡充と合わせて、長期休暇中の子どもの居場所としても充実が求められている。しかし、実施委員会の負担が大きくなっており、運営方法を含めた検討が必要。一小モデルプランも含め、今年度見直しが行われる子ども・子育て支援事業計画に位置付け、計画的に検討・整備すべきでは。 ■次期計画にむけ、準備していきたい。 ■岩永 関わる大人が子どもたちの主体性を尊重し、遊びを保障できるような環境づくりが大切。スタッフがプレイリーダー研修を受けられるよう要望する。

■小学校始業前の子どもの居場所づくり ■岩永 保護者の出勤時間に合わせて、子どもも朝早く家を出て校門の前で開門時刻を待つなど、大人の都合で朝の時間帯に、家にも学校にも居場所のない小学生が増えていると感じる。放課後だけでなく、朝の時間帯にも子どもたちが安心して過ごせる場が必要。始業前の学校施設を活用した子どもの居場所づくりを。 ■岩永 現状では難しい。 ■岩永 実態把握と今後の検討を要望する。

■障がい児支援 ■岩永 障害者手帳を所持せずに障害福祉サービスを利用する子どもが増えている。第5期障害福祉計画の策定にむけたニーズ把握等の対応は？ ■岩永 サービス利用者も対象に含めることを検討する。また、サービス等利用計画の内容も丁寧に把握しながら進めていく。

★緑化推進と地域コミュニティ醸成の取り組みとして、個人の庭園を公開し、オーナーと鑑賞する人が出会い交流するオープンガーデンと、まち中にベンチを増やす取り組みなどを提案。

## 課題解決に寄り添う 若者支援の体制づくりを



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆若者支援 ■秋本 困難を抱える若者からの相談に庁内連携課で課題解決に向けて見届ける支援が機能していない。相談シートの共通化と情報共有や、庁内連絡会での解決への支援検討等、子ども若者計画課中心の体制づくりが必要。若者の地域支援ネットワークづくりの今年度委託に際し、一人一人に寄り添うとの目的は不可欠。ネットワーク各窓口での支援に必要な傾聴等の

### 次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成29年第3回定例会は、9月1日(金)から開会の予定です。  
 議会はどこからでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。  
 ※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

知識や情報のスキルアップ、研修体制を充実すべき。 ■岩永 従来は役割分担や相談支援の流れが明確でなかった。相談シートを統一化し相談体制の整備を行い、ネットワーク会議を作る中で情報共有を図る。講演会等、研修への事業者の協力も仰ぎノウハウの蓄積を図る。 ■秋本 相談に来られない若者に対しても情報発信が大切。連携課以外からの情報集約やインターネット活用等、若者支援の周知を。居場所支援の課題認識も必要。 ■岩永 若者支援の認知に向け取り組む。

◆交通安全計画の策定に向けて ■秋本 実態に則した計画の充実には、地域の見守り活動をされている方の意見を収集反映するために、9月のパブリック・コメント案決定前に交通安全講話会を開催すべき。通学路の安全も踏まえ、教育との連携は不可欠で、教育主催の学校安全連絡会との合同開催を提案する。 ■岩永 テーマや開催方法について教育とも連携し検討する。計画策定も庁内連携を進める。 ■秋本 障がい者への合理的配慮の視点や、外国人等の課題把握と対策も項目に入れて検討すべき。また交通安全まちづくりの視点で地域の交通安全活動リーダー養成の仕組みづくりを提案する。 ■岩永 課題と受け止め検討する。意見を聞き、市に必要な施策を考えていく。 ◆防災倉庫の中身について、備蓄品への紹介写真の貼付け、貼紙等の事前準備を提案。

## 公園の設置、 保育士確保策の強化を要望



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

■キャッチボールをできるような公園の設置を星) 「『ゲームばかりしていないで、外で遊んできなさい』とは言うものの、キャッチボールをできるような公園が地域にはない。富士本一丁目に子どもたちがのびのびと遊べるような公園がほしい」とのご意見を伺った。公園の設置を求めていきたい。公園における「ボール遊びの自粛」の根拠はなんなのか。

市) 柔らかいボールは禁止していない。スポーツ用の堅いボールは、公園利用のマナーとして、市立公園では規制している。

星) 2011年策定の計画では、富士本一丁目は「身近な公園の整備検討」の対象地域になっている。進捗状況をお示しいただきたい。

市) まずは、市内の公園空白地域の解消を含めた公園緑地整備計画を定め、検討していきたい。

星) お話を伺った皆さんは、大きな子どもたちのキャッチボールが、小さな子どもには危険を伴うということは十分に理解されている。だからこそ、計画の策定にあたっては、「子どもたちにどんな遊び場が必要なのか」について市民のご意見を広く募りながら進めていただきたい。

### ■家賃補助の拡充で、保育士をしっかりと確保

星) 借り上げ宿舎に暮らす保育士に対する家賃補助がはじまる。「市内居住者」に限定しているが、市外にある宿舎から通う人も対象とすべき。保育所は保育士の確保に苦勞していると聞く。だからこそ、より好条件を設け、法人が保育士を確保しやすい環境を市は整備していくべき。看護師など対象職種も広げていただきたい。市) 財政的負担、他市の状況を踏まえ、今回は市内限定とする制度設計を行った。

星) 保育士の確保は、待機児童を少しでも減らすことにつながる。ぜひ、検討をお願いしたい。